



2025年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月4日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東
コード番号 1376 URL <https://www.kanekoseeds.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門・コンプ (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
ライアンス・IT推進担当
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第1四半期の連結業績（2024年6月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第1四半期	14,832	8.1	131	△48.9	192	△37.8	106	△49.0
2024年5月期第1四半期	13,727	△5.8	258	△11.4	309	△9.1	208	△7.5

(注) 包括利益 2025年5月期第1四半期 171百万円 (△29.4%) 2024年5月期第1四半期 243百万円 (△9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第1四半期	9.41	—
2024年5月期第1四半期	18.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期第1四半期	44,844	24,233	54.0	2,162.79
2024年5月期	48,682	24,441	50.2	2,163.02

(参考) 自己資本 2025年5月期第1四半期 24,233百万円 2024年5月期 24,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	11.00	—	22.00	33.00
2025年5月期	—	—	—	—	—
2025年5月期(予想)	—	11.00	—	22.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	63,500	3.1	1,650	11.6	1,750	11.4	1,200	1.9	106.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年5月期1Q	11,772,626株	2024年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2025年5月期1Q	567,900株	2024年5月期	472,890株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年5月期1Q	11,275,981株	2024年5月期1Q	11,449,759株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2025年5月期1Q 66,600株、2024年5月期 66,600株) が含まれております。また、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2025年5月期1Q 66,600株、2024年5月期1Q 66,600株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年6月1日～2024年8月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の回復がみられるものの、ウクライナや中東情勢の長期化などによる原材料や物価の上昇・高止まりや、欧米諸国とわが国の金融政策の方向性の違いに伴い急激な為替変動が発生するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内農業の状況は、農産物輸出額が過去最高を更新するなど明るい兆しが一部ではあるものの、肥料・飼料・光熱動力費等の農業生産資材価格は高止ましており、農家経営の厳しさは依然として緩む状況にはありません。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業・施設材事業・種苗事業の販売増により、売上高148億32百万円で前年同期比11億5百万円(8.1%)の増収となりました。利益面では、コスト増等に伴い営業利益1億31百万円で前年同期比1億26百万円(48.9%)減、経常利益1億92百万円で前年同期比1億16百万円(37.8%)減、親会社株主に帰属する四半期純利益1億6百万円で前年同期比1億2百万円(49.0%)減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でタマネギ種子が輸出・国内販売ともに、また、カボチャ種子の輸出が伸長したことから、売上高22億52百万円で前年同期比8.4%の増収となりました。利益面では、品質が低下した種子の選抜廃棄を進めたことや人件費の増加、種子輸入価格の上昇などのコストアップにより、セグメント利益2億31百万円で前年同期比25.8%減となりました。

花き事業

花き事業においては、巣ごもり消費後の需要低迷が継続したことから、ホームユース向け花苗や家庭園芸資材の販売が減少し、売上高15億50百万円で前年同期比3.4%の減収となり、利益面でも、セグメント損失80百万円(前年同期のセグメント損失は47百万円)で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、主要取扱商品の農薬が、価格改定前の前倒納品が前々期に発生した反動から前期は販売が低迷いたしました。今期は常態に回復し、売上高77億41百万円で前年同期比8.9%の増収となりました。利益面では、競争の激化による採算性の低下や人件費の増加などにより、セグメント利益2億10百万円で前年同期比19.8%減となりました。

施設材事業

施設材事業においては、原料高・製品高等に伴う農業用フィルムをはじめとする耐久資材の更新需要の停滞が続いてまいりましたが、今期に入り更新需要の回復傾向となったことなどから販売が増加し、売上高32億87百万円で前年同期比12.1%の増収となり、利益面でも、セグメント利益60百万円で前年同期比126.8%増となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、448億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して38億38百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、206億10百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億30百万円減少いたしました。これは主に買掛金の減少によるものであります。

なお、「資産の部」における受取手形及び売掛金の減少、また、「負債の部」における買掛金の減少は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期ほぼ同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、242億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億8百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払いと自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月10日の「2024年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,599,397	2,025,683
受取手形及び売掛金	20,070,658	16,804,169
電子記録債権	1,754,644	2,284,079
商品	10,418,295	9,915,381
未収入金	2,199,467	2,979,757
その他	391,370	490,357
貸倒引当金	△21,984	△18,993
流動資産合計	38,411,849	34,480,435
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,231,587	4,231,587
その他(純額)	2,857,705	2,923,707
有形固定資産合計	7,089,293	7,155,294
無形固定資産		
	609,003	558,540
投資その他の資産		
その他	2,596,546	2,674,173
貸倒引当金	△24,170	△24,178
投資その他の資産合計	2,572,376	2,649,995
固定資産合計	10,270,673	10,363,830
資産合計	48,682,522	44,844,265
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,071,489	14,641,286
短期借入金	—	3,020,000
未払法人税等	121,142	65,759
その他	1,905,509	1,720,325
流動負債合計	23,098,142	19,447,371
固定負債		
退職給付に係る負債	749,268	734,830
役員株式給付引当金	82,942	88,642
その他	310,298	339,706
固定負債合計	1,142,509	1,163,179
負債合計	24,240,651	20,610,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	20,541,739	20,397,828
自己株式	△693,622	△823,691
株主資本合計	23,104,608	22,830,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	891,253	952,295
為替換算調整勘定	42,611	53,607
退職給付に係る調整累計額	403,120	396,892
その他の包括利益累計額合計	1,336,985	1,402,796
非支配株主持分	276	290
純資産合計	24,441,871	24,233,715
負債純資産合計	48,682,522	44,844,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
売上高	13,727,579	14,832,720
売上原価	11,481,798	12,652,777
売上総利益	2,245,781	2,179,942
販売費及び一般管理費	1,987,733	2,048,167
営業利益	258,048	131,775
営業外収益		
受取配当金	37,038	39,657
受取家賃	18,896	19,494
為替差益	—	4,406
その他	3,705	4,415
営業外収益合計	59,640	67,973
営業外費用		
支払利息	6,098	5,958
為替差損	679	—
その他	1,282	1,142
営業外費用合計	8,061	7,101
経常利益	309,627	192,647
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,374
特別利益合計	—	1,374
特別損失		
減損損失	—	35,266
固定資産処分損	6	236
特別損失合計	6	35,503
税金等調整前四半期純利益	309,620	158,518
法人税等	101,422	52,356
四半期純利益	208,198	106,161
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,188	106,147

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益	208,198	106,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,270	61,041
為替換算調整勘定	26,242	10,996
退職給付に係る調整額	2,956	△6,227
その他の包括利益合計	35,469	65,810
四半期包括利益	243,667	171,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,639	171,950
非支配株主に係る四半期包括利益	27	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年6月1日 至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,078,447	1,606,001	7,110,845	2,932,285	13,727,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,078,447	1,606,001	7,110,845	2,932,285	13,727,579
セグメント利益又は損失(△)	312,591	△47,370	262,379	26,515	554,116

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	554,116
全社費用(注)	△296,068
四半期連結損益計算書の営業利益	258,048

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年6月1日 至2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,252,291	1,550,736	7,741,938	3,287,754	14,832,720
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,252,291	1,550,736	7,741,938	3,287,754	14,832,720
セグメント利益又は損失(△)	231,968	△80,974	210,418	60,141	421,554

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	421,554
全社費用(注)	△289,779
四半期連結損益計算書の営業利益	131,775

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	35,266	35,266

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	116,936千円	146,666千円